

# ZENGYO REN news

全技連ニュース

January, 2023  
No.012

## 目次

- 2 会長挨拶
- 3 堀内特別顧問挨拶
- 4 昨年の全技連の主な動き
- 8 令和4年度「全技連会長賞」受賞者
- 9 今年の主要行事予定
- 10 全技連マイスターそして現代の名工
- 11 令和4年度全技連マイスター認定者
- 12 令和4年度全技連マイスター更新認定者
- 14 販売商品のご案内

一般社団法人 全国技能士会連合会

# 「三重苦」の中で迎えた新年



一般社団法人  
全国技能士会連合会  
会長  
**大関 東支夫**  
*Toshio Oozeki*

## (新年は有難い)

どんなに苦しい状況にあっても新年を迎えると、「明けましておめでとう」と言います。「嫌なことは水に流して忘れる」。日本の素晴らしい慣習です。

昨年はコロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、異常な物価高に見舞われました。今年は、この「三重苦」を継続する形で新年を迎えました。

3年以上続く「コロナ禍」ですが、ウイルスは生き残ろうとする性質がありこれからも新たな変異株になって出現してきます。日本では2,600万人以上が感染しました。自覚症状のない感染者も多数います。4回以上のワクチン接種者は5,000万人を超みました。集団免疫もできてきました。まもなくインフルエンザ同様の扱いになります。

問題はゼロコロナ政策をとる中国です。繰り返すロックダウンに国民の反発デモも起きています。グローバル世界の今日、ゼロコロナ対策には限界があります。対応を誤ると不満が蓄積して天安門事件の再発になりかねません。徐々にウイズコロナ政策に移行せざるを得ません。14億の人口を抱える中国が集団免疫を確保できるまでは世界での収束宣言はできません。

「ウクライナの戦争」も心配です。厳冬期に入る前に停戦を期待しましたがその気配はないようです。両国とも武器弾薬を他国に依存しなければ戦争継続はできない状況にあります。徴兵も財政も限界です。両国民をどこまで苦しめれば停戦する気になるのか。憎しみと不信の重なった両国間だけでは停戦できません。仲裁が必要です。いま、仲裁に入るのは米国だけかもしれません。

「物価高」はコロナと戦争に起因しています。原油、小麦等の原材料の流通経路が途絶えたことです。コロナと戦争が収束すれば改善されます。

## (これからの世界は)

「三重苦」は改善されていきますが、あらたな難題も見えています。

一つは、大不況の到来です。

いま多くの国で物価高騰を抑えるために金利を上げています。本来、金利は景気の過熱した時に上げるもの。コロナ禍で経済が停滞している中で金利を上げていけば企業倒産、失業者増加につながります。的外れの金融政策に思います。

二つ目は世界の政治的リーダーが交替していきます。

今の時代は第一次世界大戦当時と似ているといわれます。戦争とスペイン風が重なりました。収束のあとに起きたのは、大失業、食糧不足、環境破壊でした。世の中は不満と不安に充ち溢れます。強いリーダーが求められました。現れたのがヒトラー、ムッソリーニ、スターリンという独裁者でした。第二次大戦の始まりです。

今回も同じようなことが起きそうです。米国、ロシア、中国、日本も例外ではありません。各国とも足元から揺らいでいます。ただ願うことは地球を破滅させるようなリーダーが誕生しないことです。

三つ目は、世界の国々の陣営、国民が二分化されていくことです。

ロシアの軍事侵攻により世界は軍事面も経済活動も(欧米日)対(露、中国、北朝鮮、イラン)の両陣営に分かれています。中間にあるインド、アフリカ、東南アジア、イスラム諸国は両陣営からの強烈な囲い込みにあります。

各国の軍事費も拡大しています。日本の軍事予算はGDP1%枠から2%に増額します。世界第3位の軍事大国になります。軍事費の拡大は国家間の格差、国民の格差を拡大していきます。半導体等は兵器にも使用されるため厳格な市場分けが起きます。原油や食料も同じです。どちらの陣営に入るかで国民も影響を受けます。食糧危機、環境破壊、医療格差は生命に係わる問題になります。

## (重要な日本の役割)

混沌する世界の中で日本の存在意義はますます重要になります。機能しなくなった国連改革のため日本が常任理事国に推薦されるかもしれません。日本の軍事予算拡大を憂慮する人もいますが世界情勢が変わったのです。ケネディ元米大統領が言うように、「戦争の準備をすることによってのみ平和を維持することができる」のです。ただ、日本は恐れられる国になるのではなく世界平和のために「尊敬される国」にならなければなりません。

日本だけが金融緩和を続けています。円安が起きています。賛否ありますが、私には「神風」が吹いていると感じています。確かに原油、小麦等輸入品は高騰しましたが、製造業等輸出企業は史上最高の利益を上げています。産業の基本は「ものづくり」です。日本には衣食住工の手技を中心とした匠の技を持つ技能士がいます。ものづくりが国を救います。

円安効果で海外からの観光客も増加してきました。高品質の衣食住工の製品にも関心が広まります。輝いていた昭和時代の再来も可能です。これからが本当の底力を発揮するときです。

## (技能士会は不滅です)

今年は「兎年」豊作の年と言われます。株価は跳ねて元気になる年です。良い伝承は信じましょう。これまで技能士会は会員の協力を得て難題が起ても地道にコツコツと乗り越えてきました。今年も多難な年に変わりありませんが特別顧問の堀内詔子議員と連携して国への要望活動を続けます。技能五輪、グランプリ、匠の技祭典、各種イベントを通して技能継承にも力を入れます。

皆さん、明るい夢を持って元気な一年にしていきましょう。

# 新年あけましておめでとうございます。



衆議院議員  
自由民主党副幹事長

堀内 詔子

*Noriko Horiuchi*

一般社団法人全国技能士会連合会特別顧問の衆議院議員の堀内詔子（のりこ）です。

コロナ禍が続いている間に皆様方とお会いする機会もなく残念な思いでおります。

昨年は、コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻、物価高という「三重苦」に見舞われた年でした。

皆様、穏やかな新年をお迎えできましたでしょうか。

コロナ禍や戦争による影響でエネルギー価格や材料費が高騰しています。半導体等原材料の不足などもあり日本のものづくり産業は大きな影響を受けています。ものづくりにかかわる技能士の皆様も大変ご苦労をされているのではないかと心配しております。

そうした中でも、技能士会は技能継承を絶やさぬために地道に活動されていることも伺っています。令和3年度の技能検定試験をみましても、申請者数は約97万2千人で、前年より約25万6千人も増え、また、晴れて技能士に合格された方は、約36万8千人となっています。

また技能五輪や技能グランプリ、匠の技イベント等についても切れ目なく実施しております。技能士の皆様の技能継承にかける粘り強い情熱に改めて敬服する次第です。

後継者不足が深刻になっており心配しています。建設業界では、休日が取りにくいなど、厳しい環境下にあり若者離れによる人手不足が進んでいること。このため建設キャリアアップ・システムの実施により、仕事の付加価値を向上させ、担い手不足、厳しい環境下の打開を目指しております。また、働き方改革として工期設定などにも気を配り、週休2日を確保できるような環境づくりを国政の場から後押ししているところです。

私は技能士の中心的課題である

- ① 経済的地位の向上
- ② 社会的地位の向上

を図るために、問題意識を共有する同朋議員との連携を図り、大関会長をはじめとする全国技能士会連合会の皆様方と行動を共にし、少しづつでも改善できるよう頑張ってまいります。

今年はうさぎ年です。兎は穏やかな性質なので、「家内安全」。飛び跳ねる特徴から「飛躍」「向上」の年とも言われています。そうなれば、「景気が上向きに跳ねる」「株価上昇」の期待も高まります。

コロナ禍の早期収束を願い、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

# 昨年の全技連の主な動き

## 令和3年度第2回通常理事会を開催



3月

3月18日(金)に東京洋服会館(東京都新宿区)において、令和3年度第2回通常理事会を、新型コロナウィルス感染対策を施し開催しました。決議事項として、令和4年度事業計画(案)、収支予算(案)、令和4年度定時総会について審議され、全ての議案が原案どおり承認決議されました。引き続いて令和3年4月以降の業務執行報告があり、閉会となりました。

## 令和4年度第1回通常理事会並びに定時総会を開催



6月

6月27日(月)にALCADEIA市ヶ谷(東京都千代田区)において、令和4年度第1回通常理事会並びに定時総会を新型コロナウィルス感染対策を施し開催しました。通常理事会においては、決議事項として、令和3年度事業報告及びその附属明細書の承認、令和3年度貸借対照表並びに損益計算書及びその附属明細書の承認、令和4年度事業計画(案)及び令和4年度収支予算書(案)の変更の承認、会長の選定について審議され、全ての議案が原案どおり承認決議されました。引き続いて令和4年4月以降の業務執行報告があり、閉会となりました。

定時総会においては、大関会長より開会にあたっての挨拶に続いご来賓として出席された厚生労働省人材開発統括官付 能力評価担当参事官 山地 あつ子様よりご挨拶をいただいた後、議事に入りました。令和3年度事業報告に続いて、決議事項として、令和3年度貸借対照表並びに損益計算書及びその附属明細書の承認、令和4年度事業計画及び令和4年度収支予算書の承認、理事及び監事の選任について審議され、全ての議案が原案どおり承認決議されました。



## 全技連マイスター第2次審査講習会を開催

7月

7月22日(金)にALCADEIA市ヶ谷(東京都千代田区)において、新型コロナウィルス感染対策を施し第2次審査講習会を3年振りに開催しました。第1次審査に合格された60名のうち、54名が参加されました。

大関会長による「全技連マイスター・指導者の役割について」に続いて、先輩全技連マイスターの飯島勇氏(内装仕上げ施工職種)から自らの体験を基にした全技連マイスターとしての活動報告・事例発表が行われました。

続いて、4名のグループに分け、グループディスカッションを行いました。

テーマは「技能継承・後継者育成についての問題点」と「全技連マイスター認定後の活動・取組み方」で、グループごとに意見をまとめ、最後に3グループの代表の方に発表していただきました。異業種交流の場にもなり、活気ある意見交換の場となりました。

なお、今年度の全技連マイスター認定者及び平成29年度認定者並びに平成29年度更新認定された方々に対する更新認定者の一覧を11頁～13頁に掲載しております。



## 第46回技能五輪国際大会(京都大会)を視察

10月

10月15日(土)～18日(火)に京都市勧業館みやこめっせで開催された第46回技能五輪国際大会(京都大会)を大関会長と清浦事務局長が視察しました。

第46回技能五輪国際大会(特別開催)は、競技職種ごとに日本を含む15か国で開催されました。日本では「情報ネットワーク施工」、「光電子技術」、「再生可能エネルギー」の3職種の競技が行われ、15の国・地域から22名の選手(日本からは各職種1名ずつ計3名)が参加しました。



※ Photo: courtesy of WorldSkills International

## 第40回全国技能士大会を開催

11月

11月2日(水)にアルカディア市ヶ谷において、中央職業能力開発協会との共催及び全技連マイスター会の特別協賛による第40回全国技能士大会が3年振りに開催され、各都道府県等の技能士会・連合会、職業能力開発協会及び関係団体から約200名が参加されました。

第一部は式典の部となり、大関会長、宮野中央職業能力開発協会理事長からの主催者挨拶に続いて、ご来賓として出席された厚生労働省人材開発統括官付 能力評価担当参事官 安達 佳弘様よりご挨拶をいただきました。

その後、令和4年度一般社団法人全国技能士会連合会会長表彰状の贈呈、令和4年度全技連マイスター認定証の交付式が行われました。



第二部は、(株)外交政策研究所 代表の宮家邦彦氏より「全国の技能士が知るべき国際情勢」と題して、世界情勢についてユーモラスに、わかりやすく解説され、講義終了後も多くの質疑応答があり盛況のうちに終了しました。

最後に、一般社団法人全国技能士会連合会の理事である一般社団法人沖縄県技能士会連合会の道鬼正二会長より大会決議(案)の提案があり、満場一致でご賛同いただき、提案どおり採択されました。

また、大会終了後、懇親会を新型コロナウィルス感染対策のため事前申込制とし開催し、特別講演の宮家氏も参加されるなか、多くの技能士の方々が異業種交流の場として参加されました。

(6ページ左上につづく ↗)

# 昨年の全技連の主な動き

今大会を盛大に催すことができましたのも、各都道府県の技能士会・技能士会連合会、職業能力開発協会及び関係団体の皆様方のご尽力の賜物です。厚く御礼申し上げます。

なお、今年度の一般社団法人全国技能士会連合会会長賞受賞者一覧を8頁～9頁に掲載しております。

11月



## 令和4年度 全国技能士大会決議

いま世界はコロナ、戦争、物価高という三重苦の中に置かれています。混乱の時代であればあるほど、衣食住工に携わる技能士の存在感と役割は重要になります。私たち技能士会は、技能尊重の気運を高め、技能士の社会的・経済的地位の向上を図り、「ものづくり立国・日本」を推進していくため、次の行動をとっていきます。

記

- 「技能士会会員こそ本物の技能士である」ことに誇りと責任を持ち、技能伝承や後継者育成に努め、技能士が眞に尊敬され活躍できる社会を実現するための活動をしていく

- 国、地方自治体、企業が、ものづくりの重要性と災害時の技能士不足の深刻度を真剣に受け止め、本腰を入れた技能士の育成、支援に取り組むよう求めていく
- 技能五輪全国大会や技能グランプリ、会員団体の開催する技能競技大会やイベント等を積極的に協賛、支援し、技能士の技能の向上、技能・ものづくり尊重の気運の醸成を図っていく

## 第60回技能五輪全国大会開催される

第60回技能五輪全国大会が、幕張メッセ(千葉県千葉市)をはじめ13会場で、11月4日(金)～7日(月)(一部の職種は先行して実施)に開催されました。全国から41職種の競技に1,014人の選手が参加し、技を競い合いました。11月7日(月)に千葉ポートアリーナ(千葉県千葉市)で行われた閉会式では、大関会長がプレゼンターとなり銀賞受賞者へメダルを授与しました。

また、全国技能士会連合会会長賞(特別賞)に埼玉県、静岡県、千葉県の3選手団が受賞されました。おめでとうございます。



# 自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」へ参加

11月

11月10日(木)に自由民主党本部(東京都千代田区)で開催された「予算・税制等に関する政策懇談会」において、下記要望書を提出するとともに、清浦事務局長から令和5年度予算をはじめ、技能士への支援を強く訴えました。

自由民主党

令和4年11月10日

組織運動本部 労働関係団体委員長 田所 嘉徳 様  
政務調査会 厚生労働部会長 田畠 裕明 様

一般社団法人 全国技能士会連合  
会長 大関 東支夫

いま世界中がコロナ禍、戦争、物価高の三重苦の中にいます。この災難の原因が天災なのか人災なのかの判断はともかく、多くの辛苦にあえぐ人たちが日々増加していることは事実です。

今後は環境問題、食糧危機、ウクライナ復興支援、円安対応等多くの問題が待っています。第一次、第二次世界大戦時期の混乱した世界を再現するかのように思われます。

いかなる時代がきても頼りになるのは「ものづくり」です。第二次大戦で敗戦国となった日本とドイツがいち早く立ち直り、世界の経済大国にまで成長したのも「ものづくり」の力があったからです。

そのものづくりを担う現役技能士は全国で380万人(家族まで含めれば700万人)以上いると推測されます。しかし技能士の世界はこれまでになく厳しい状況に置かれています。

3年近く続くコロナ禍で仕事が激減(例:調理士、和洋装、フランジ装飾、室内装飾)。材料費高、原材料不足等(例:貴金属、飲食関連職種、機械金属、電子機器)により苦戦している職種もあります。若者の技能士離れ等により後継者不足も深刻です。

東日本大震災や各地の台風被害の復興も進展しません。国土強靭化対応にも影響がでています。今後は国際貢献として破壊されたウクライナの国土回復の支援も求められると思います。建築、道路、橋梁、水道、下水等インフラ関連の技術、技能者等が渴望されると思いますが技能士不足が問題になります。

技能士育成には時間とお金が必要です。しかし12年前の民主党政権下で行われた事業仕分けにより全技連への補助金5,000万円弱が全額カットされました。以来、会費のみの事業運営に変わりました。大企業傘下の工業系技能士と異なり、小規模、一人親方的な衣食住工に関わる技能士の多くは技能士会員を中心となって募集、育成、独立、活用等を図ってきました。

だが会員の自助努力だけの取り組みでは限界にきています。すでに県の技能士会によっては解散、退会した団体もあります。この県で台風被

害等が発生した場合、とび職、屋根瓦、畳、左官、表具職人等がいなくなります。このままでは日本の優れた技能の継承も危ぶまれます。

技能士不足は日本の衣食住工に関わる生活の危機であり、日本の国土・国民を守る危機でもあります。日本経済を活性化させる柱も「ものづくり立国」です。

このような時代環境を考える時、技能士の果たす役割は大きくなります。

これらの状況を踏まえ、次の要望をします。

## 要 望 書

### 1. 技能士の抱える課題を総合的に相談、対応してくれる国の機関として「ものづくり庁」(又は「技能士庁」「総合窓口」)の創設

現在、技能士の認定は厚生労働省。

養成は職業訓練校、個人技能士、民間企業。

工業高校や専門学校は文部科学省が所管。

技能士の活用・支援は、伝統工芸、洋装等は経済産業省。建設系は国土交通省。宮大工等は文部科学省。調理関係は農林水産省。

叙位・叙勲等手続き格付けも省庁によりマチマチ。どこの省庁がメインなのかが不明です。

380万人余の職業人としての進展過程にあわせた育成システム。  
医療・年金等福利厚生支援。

開業資金等支援、マーケティング・商品開発等経営サポート。

3D印刷・IT技術等時代の進化に対応等を総合的に取り組む機関と総合窓口の設置。

を検討いただきたい。

### 2. 技能士活動が円滑にできる支援策の措置

(1) 技能継承・後継者育成等全国及び地方の技能士会活動が円滑にできるような事務所費用(家賃、事務職員給与等一部補助)、イベント費用等(会場使用料、資材運搬、材料費)助成

(2) 後継者育成に要する経費(見習い期間5年程度の給与補助)助成

(3) 地方の災害支援の行える財政的支援

① 鳥、屋根瓦、大工、左官等職人の派遣費用

② 畳、瓦、家具、作業資材等送付費用

③ 「地域災害お助け隊(仮称)」の設置支援

## 令和4年度卓越した技能者の表彰式行われる

厚生労働省では、令和4年度の「卓越した技能者(現代の名工)」の表彰対象者150名を決定し、11月14日(月)にリーガロイヤルホテル東京(東京都新宿区)で表彰式が行われ、全技連マイスターから24名の方々が表彰されました。「全技連マイスターそして現代の名工」に受賞者の一覧を10頁に掲載しております。

令和4年度  
「全技連会長賞」受賞者の皆さん

長年にわたり、技能振興及び技能士会活動について優秀な実績を残された事業所・団体及び功労者と  
会員技能士団体の永年勤続者に対して毎年全技連会長から受賞者に贈呈されるものです。

(敬称略・順不同)

**1 技能振興事業及び技能士会活動に係る事業所又は団体 (10団体)**

都道府県	事業所又は団体	役職	代表者氏名
山形県	山形県鳶工業連合会	会長	五十嵐 俊
栃木県	栃木県石工技能士会	会長	鈴木 康晶
	栃木県ガラス施工技能士会	会長	大嶋 利明
埼玉県	埼玉県石材業協会技能士会	会長	小泉 俊春
東京都	東京都寝具技能士会	会長	野原 久義
愛知県	愛知県家具技能士会	会長	太田 一彦
	愛知県築炉工業協同組合	理事長	山崎 登
	愛知県板金技能士会	理事長	後藤 実
	愛知県フラーー装飾技能士会	会長	真見 立子
	愛知和服裁縫業協同組合	理事長	西岡 弘和

**2 技能振興事業及び技能士会活動に係る功労者 (109名)**

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
北海道	遠藤 克己	幕別技能士会	相談役
	佐々木 春枝	北海道洋裁技能士会	会長
	佐藤 学	北海道日本調理技能士会	理事長
	田原 祥司	函館技能士会	会長
	橋本 孝彦	札幌塗装工業協同組合技能士会	会長
岩手県	鹿糠 英夫	久慈地区技能士会	元理事
	中里 利男	二戸地区技能士会	理事
	橋本 健次	大船渡地区技能士会	前副会長
宮城県	井澤 茂美	宮城県日本調理技能士会	副会長
秋田県	越前谷 満	秋田県建築板金技能士会	
	根本 良己	秋田県鹿角地区技能士会	
山形県	閑川 俊夫	有限会社閑川瓦工務店	代表取締役
	土屋 清栄	山形県塗装工業組合	理事
福島県	吉田 孝治	福島県石材業技能士会	副会長
茨城県	安藤 和代	茨城県フラーー装飾技能士会	元副会長
	大平 晶	茨城県造園技能士会	相談役
	園部 秀利	茨城県建築塗装技能士会	監事
栃木県	寺内 茂	栃木市建築大工技能士会	会長
群馬県	鶴淵 軍治	株式会社ミツバ技能士会	副会長
	宮口 佳夫	群馬県金属塗装技能士会	副会長
	茂木 清美	群馬県造園技能士会	会長
	森村 好	大洋電機株式会社群馬事業所技能士会	顧問
	米岡 孝夫	群馬県ガラス・サッシ組合連合会技能士会	会長
埼玉県	小林 保博	埼玉県大工技能士会	会長
	和田 三郎	埼玉県建技能士会	元会長
千葉県	櫻井 淳史	千葉県日本調理技能士会	常任理事
	蓮井 龍雄	千葉県タイル住器工事組合	専務理事
東京都	大林 賢吾	東京都椅子張り技能士会	監事

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
東京都	指田 泰子	中央着付能力開発協同組合技能士会	東京支部長
	佐藤 順子	日本洋裁技能士会	常務理事
	山下 真二	東京内装仕上技能士会	副会長
神奈川県	青山 靖男	一般社団法人神奈川県広告美術協会	理事
	井手 浩樹	神奈川県工業塗装協同組合	技術委員会委員
	神崎 征美	神奈川県豊工業協同組合技能士会	理事長
	國峯 伸之	神奈川県印刷業組合連合会技能士会	相談役
	鈴木 学	神奈川県日本調理技能士会	会長代行
	川口 衛	富山県技能士会連合会	前会長
富山県	伍嶋 光明	富山県日本調理技能士会	理事
	田邊 博文	富山県表具師文化協会	理事
	坪川 聰	福井県鶯土工業協同組合	理事
山梨県	後藤 尚久	山梨県貴金属装身具技能士会	会長
長野県	掛川 知由	長野県建具技能士会	理事
	渋谷 明	長野県日本調理技能士会	副会長
岐阜県	小寺 清信	岐阜県建具技能士会	
	林 貞明	岐阜県瓦葺技能士会	
	堀 新三	岐阜県建築大工技能士会	相談役
静岡県	生熊 伸安	静岡県造園技能士会	理事
	金田 克比呂	静岡県板金工業組合	副理事長
	高橋 裕一	静岡県日本調理技能士会	理事
	土屋 辰巳	静岡県日本調理技能士会	常務理事
	松井 勝彦	静岡県広告美術業協同組合	
	松井 隆	静岡県浜松建築業組合技能士会	
三重県	筒井 英樹	一般社団法人三重県技能士会三重金属支部	支部長
	樋口 真司	協同組合三重県写真館協会	顧問
滋賀県	小川 勝義	滋賀県日本調理技能士会	理事
	川下 雅博	一般社団法人滋賀県造園協会	監事
京都府	大槻 秀治	京都印章技能士会	相談役
	坂上 茂	京都府菓子技能士会	元副会長
	田中 三喜男	京都府菓子技能士会	前会長・相談役
大阪府	田中 宏和	大阪府塗装技能士会	幹事
	辻 典男	大阪府板ガラス技能士会	相談役
	橋本 晴広	大阪府調理技能士会	副会長
	長谷川 博一	大阪府印章技能士会	副会長
兵庫県	佐野 靖夫	一般社団法人兵庫県洋菓子協会	会長
	橋本 要	兵庫県豊技能士会	副会長
	吉岡 正明	兵庫県建築大工技能士会	副会長
	阪本 多聞	和歌山県防水技能士会	会長
和歌山县	田中 弘一	和歌山県塗装技能士会	監事
	播磨 重俊	和歌山県建具事業協同組合	事務局長
	山田 徳男	鳥取県左官高等職業訓練校	元校長
島根県	青山 育江	島根県左官技能士会	事務局
	今明 稔英	島根県建築組合連合会技能士会	前会長

(敬称略・順不同)

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
島根県	小島 秀樹	島根県冷凍空調技能士会	会長
岡山県	内田 慎	岡山県ガラス技能士会	理事
	藤井 英俊	岡山県左官技能士会	常務理事
広島県	藤原 平	広島県と裁教師協議会	会長
徳島県	井上 晃	徳島県室内装飾事業協同組合	
	大西 しのぶ	徳島県和裁技能士会	
香川県	萩原 百合子	香川県原和裁技能士会	会計理事
	松久 真	香川県日本調理技能士会	会長
	山下 光一	さぬき畳技能士会	会長
	山田 浩之	香川県石材施工技能士会	副会長
	行安 忠志	香川県型枠技能士会	会長
愛媛県	池内 剛三	愛媛県造園緑化事業協同組合	理事
	矢野 厚美	有限会社ビューティーコラボレーション	代表取締役
福岡県	白石 秀充	福岡県印刷工業組合	前理事長
	美藤 稔和	福岡県左官業組合連合会	副会長
	宮村 博良	福岡県鉄筋事業協同組合	理事長
佐賀県	坂井 啓太	佐賀県パン技能士会	会長
熊本県	際田 俊一	一般社団法人熊本県優良住宅協会	会長
	楠元 克徳	熊本県伝統建築連絡協議会	会長
	水野 学	熊本県板硝子商協同組合	理事長
	宮田 洋志	熊本県鉄筋工事業協同組合	副理事長
	安田 芳隆	一般社団法人熊本県防水工事業協会	副会長

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
宮崎県	井上 和秋	宮崎県建築配管技能士会	会長
	金丸 和裕	宮崎県造園技能士会	理事
	坂田 己喜雄	宮崎県左官技能士会	監事
鹿児島県	大江 孝之	鹿児島県畳工業組合	理事長
沖縄県	新垣 三枝子	沖縄県フラー装飾技能士会	理事
	知花 美枝子	沖縄県和裁技能士会	会長
	當山 孝司	沖縄県廣告美術技能士会	前会長
	本多 健介	沖縄県左官技能士会	理事
	柳 真衣	沖縄県フラー装飾技能士会	会計
全国寝具技能士会連合会	渡部 一博	三重県寝具技能士会	副会長
(一社)全国日本調理技能士会連合会	梶山 啓治	一般社団法人大阪府日本調理技能士会	会長代行
	萩原 章	東京都日本調理技能士会	副会長
	松島 俊白	株式会社ディー・アール「おもき」	総料理長
全国石材技能士会	岩田 明	兵庫県石工技能士会	副会長
	山口 大助	鳥取県石材技能士会	理事

## 3 都道府県技能士会・連合会及び各職種技能士会・連合会役員(2名)

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
秋田県	佐藤 吏華	秋田県技能士会連合会	事務局
大分県	兒玉 輝彦	一般社団法人大分県技能士会連合会	会長

## 全技連の今年(令和5年)の主要行事

令和4年度 第2回通常理事会	3月17日(金)	東京洋服会館
令和5年度 全技連マイスター認定申請・ 平成30年度認定者及び更新認定者の 全技連マイスター更新認定申請	申請期間: 4月3日(月)~5月31日(水)	
令和5年度 第1回通常理事会・定時総会	6月28日(水)	アルカディア市ヶ谷(千代田区九段北)
▶ 第1回通常理事会	11:30 ~ 13:00	
▶ 定時総会	13:30 ~ 15:00	
令和5年度 会長表彰状贈呈者の推薦申請	申請期間: 6月末~7月末	
令和5年度 全技連マイスター第2次審査講習会	7月28日(金)	アルカディア市ヶ谷
第41回全国技能士大会	11月1日(水)	アルカディア市ヶ谷

# 全技連マイスター そして 現代の名工

全技連マイスターの方で、令和4年度「現代の名工」に選定された方々をご紹介します。

## 現代の名工

卓越した技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もって技能者の地位及び技能水準の向上を図るとともに、青少年がその適性に応じ、誇りと希望を持って技能労働者となり、その職業に精進する気運を高めることを目的としています。

被表彰者は、①きわめてすぐれた技能を有する者、②現に表彰に係る技能を要する職業に従事している者、③技能を通じて労働者の福祉の増進及び産業の発展に寄与した者、④他の技能者の模範と認められる者、のすべての要件を充たす者であって、都道府県知事、全国的な規模の事業を行う事業主団体若しくはその連合体又は一般社団法人若しくは一般財団法人、その他当該表彰を受ける者の推薦に当たる者が推薦した者のうちから、厚生労働大臣が技能者表彰審査委員の意見を聴いて決定されます。

認定年度	都道府県	氏 名	職 種
平成 21 年度	愛媛県	宇野 保夫	表装
	茨城県	知久 貴	建築板金
	埼玉県	藤巻 今朝男	貴金属装身具製作
平成 22 年度	宮城県	千坂 和子	和裁
平成 23 年度	東京都	佐藤 順子	婦人子供服製造
平成 24 年度	三重県	今村 みえ子	寝具製作
	滋賀県	森 順一	調理（日本料理）
平成 25 年度	静岡県	勝又 正美	建築大工
	新潟県	田村 直敏	左官
	大阪府	松田 弘司	家具製作
平成 26 年度	愛知県	崎 正美	調理（日本料理）
平成 27 年度	岐阜県	田口 明博	かわらぶき
	青森県	中里 政義	建築大工
	東京都	山崎 豊	表装

認定年度	都道府県	氏 名	職 種
平成 28 年度	愛知県	川口 博敬	建具製作
	神奈川県	本間 健治	内装仕上げ施工
平成 29 年度	神奈川県	大窪 公也	調理（日本料理）
平成 30 年度	石川県	下代 隆士	調理（日本料理）
	神奈川県	藤元 晶扇	家具製作
令和元年度	静岡県	芹澤 國夫	紳士服製造
	福岡県	副島 正英	フラワー装飾
	愛知県	丹羽 拓也	寝具製作
令和 2 年度	三重県	宮崎 祐史	表装
令和 3 年度	京都府	奥田 隆夫	タイル張り

(敬称略・順不同)



令和4年度  
全技連マイスター決定

(26職種 54名)

「全技連マイスター事業」は、技能士が有する優れた技能と知識を次の世代に伝承することを目的として、平成15年度に創設されました。

全技連マイスターの活躍の場が徐々に増えつつあるという情報を各地から頂いており活躍が認められるようになってきています。

令和4年度全技連マイスター認定者（推薦団体別）

(一社) 北海道技能士会	永田 久美子	婦人子供服製造	(一社) 静岡県技能士会連合会	宇田川 宏之	調理（日本料理）
	目黒 峰子	婦人子供服製造		中居 輝孝	調理（日本料理）
青森県技能士会	佐藤 良雄	建築大工	(一社) 三重県技能士会	市野 政光	建具製作
	鈴木 周子	和裁		小田 守	調理（日本料理）
宮城県技能士会連合会	阿部 浩章	造園	京都府技能士会連合会	木村 一久	フラワー装飾
秋田県技能士会連合会	鈴木 正人	調理（日本料理）		後藤 巨人	型枠施工
山形県技能士会	武田 信太郎	調理（日本料理）		中川 憲一	菓子製造
福島県技能士会連合会	清水 大	調理（日本料理）		細井 督司	タイル張り
茨城県技能士会連合会	岩上 光浩	かわらぶき	(一社) 大阪府技能士会連合会	福田 裕亮	調理（日本料理）
	松崎 良和	かわらぶき	兵庫県技能士会連合会	長崎 正	写真
(一社) 群馬県技能士会連合会	神戸 定夫	調理（西洋料理）	香川県技能士会連合会	大川 弘展	石材施工
	田中 謙一	建築大工	(一社) 福岡県技能士会連合会	兼竹 剛史	かわらぶき
	和田 伊弘	建具製作		森 陽一	造園
千葉県技能士会連合会	櫻井 淳史	調理（日本料理）	(一社) 熊本県技能士会連合会	財津 洋	造園
(一社) 東京都技能士会連合会	平山 俊介	ウェルポイント施工		鳥部 敏信	ガラス施工
	金子 直子	貴金属装身具製作		満留 勝己	配管
	小宮 孝子	着付け		安原 光則	建具製作
	渡辺 正夫	家具製作	(一社) 大分県技能士会連合会	高原 豊彦	調理（日本料理）
神奈川県技能士会連合会	石井 重一	和裁	(一社) 全国日本調理技能士会連合会	山本 達正	調理（日本料理）
	石川 朗	印章彫刻	全国石材技能士会	村井 一信	石材施工
	田中 史昭	左官		高須 保雄	石材施工
	水留 信子	着付け	(公社) 全日本洋裁技能協会	森山 一江	婦人子供服製造
新潟県技能士会連合会	吉川 博行	調理（日本料理）	(公社) 日本全職業調理士協会	加藤 浩之	調理（日本料理）
	武生 公則	酒造	(一社) 日本内装仕上技能士会連合会	谷増 賢治	表装
	若杉 松男	造園		小池 伸和	表装
富山県技能士会連合会	新保 博常	機械加工		山中 芳美	表装
(一社) 石川県技能士会	吉田 裕之	機械検査			
長野県技能士会連合会	宮下 隆雄	調理（日本料理）			

**「全技連マイスター（永年保持者）」**  
**「全技連マイスター（1回目更新者）」の門標のご案内**

全技連マイスター認定後10年以上、2回目の更新認定を受けられた「全技連マイスター（永年保持者）」を対象とした章記（門標）、また、全技連マイスター認定後5年以上、1回目の更新認定を受けられた「全技連マイスター（1回目更新者）」を対象とした章記（門標）です。  
全技連マイスターとして、優れた実績と積極的に後進育成等の活動を行っていることをお客様に知っていただくことができます。



※お申込み・お問い合わせは、一般社団法人全国技能士会連合会までお願いいたします。

永年マイスター門標 1回目更新者門標  
(35cm × 11cm × 1cm / 文字の高さ凸2mm)

令和4年度  
全技連マイスター更新認定者

(36職種 180名)

平成 29 年度に全技連マイスターに認定された者及び全技連マイスター更新認定された者のうち、  
5 年を経過して更新認定された方々は次のとおりです。

令和 4 年度全技連マイスター更新認定者（職種別）

建設関係			左官	平成 29 年度	美 藤 稔 和 福岡県
造園	平成 24 年度	山田 政一 山形県			丹 波 秀 朗 熊本県
		野々市 芳朗 石川県	タイル張り	平成 24 年度	勝 呂 高 也 東京都
		山宮 一哲 山梨県		平成 29 年度	近 藤 賢 司 岡山県
		壺井 幸次郎 兵庫県	配管	平成 24 年度	岩 井 孝 博 香川県
		森 和 義 山口県		平成 29 年度	工 藤 光 明 熊本県
	平成 29 年度	越智 將人 愛媛県	型枠施工	平成 29 年度	萩 原 治 信 京都府
		大久保 一昭 宮城県	鉄筋施工	平成 29 年度	黒 木 実 福岡県
		木暮 幸一 群馬県	防水施工	平成 29 年度	鈴 木 崇 浩 東京都
		吉井 正 群馬県			高 野 安 則 東京都
		中村 茂好 石川県	内装仕上げ施工	平成 24 年度	渡 辺 光 東京都
建築板金	平成 24 年度	山本 聰 洋 和歌山県		平成 29 年度	保 田 忠 儀 神奈川県
		藤野 次男 大分県			荒 川 仁 志 石川県
		大月 信雄 東京都			岩 田 昌 成 石川県
	平成 29 年度	久野 誠 石川県			閑 戸 務 山梨県
		中村 久良 宮崎県			井 上 和 祥 京都府
		高橋 克昌 埼玉県	塗装	平成 24 年度	片 桐 久 山形県
石材施工	平成 24 年度	藤田 正廣 富山県			石 川 匡 洋 三重県
		川崎 俊和 山梨県			濱 崎 博 文 鹿児島県
		有賀 正治 静岡県		平成 29 年度	山 中 重 則 埼玉県
		森川 正美 兵庫県			宮 下 尊 之 山梨県
		田部 哲朗 島根県			橋 本 時 男 長野県
	平成 29 年度	山田 浩之 香川県			福 田 勲 福岡県
		小林 光一 福島県	広告美術仕上げ	平成 24 年度	福 田 宗 男 沖縄県
		鈴木 正典 福島県		平成 29 年度	神 谷 正 昭 沖縄県
		小泉 俊春 埼玉県			當 山 孝 司 沖縄県
		大川 豊 山梨県			
建築大工	平成 24 年度	岡田 昌臣 香川県			
		内山 英明 群馬県			
		高長根 博樹 青森県	機械検査	平成 29 年度	石 倉 俊 一 三重県
	平成 29 年度	金原 甫夫 静岡県			
		濫 谷 洋 行 静岡県	縫製機械整備	平成 24 年度	時 田 智 千葉県
とび	平成 24 年度	栗栖 龍男 山口県			
かわらぶき	平成 24 年度	石田 浩一 群馬県			
		松澤 清 長野県			
		東 平和 熊本県	食料品関係		
	平成 29 年度	栗原 恒明 埼玉県			
		松崎 孝治 富山県			
左官	平成 24 年度	松澤 克友 長野県			
		玉川 茂生 京都府			
		大谷 豊 兵庫県			
		館花 猛 神奈川県	衣服・繊維製品関係		
	平成 29 年度	美浪 利光 北海道			
		本田 岳史 新潟県			
		島田 宰任 福井県			
		清水 真二 山口県			
			和裁	平成 24 年度	古 館 久 子 青森県
					高 橋 洋 子 宮城県
					田 中 順 子 東京都
					山 本 秀 司 神奈川県
					太 田 直 子 香川県
					高 島 由 美 香川県
				平成 29 年度	柴 崎 恵 利 埼玉県
					上 野 晃 東京都
					河 合 利 政 愛知県

令和3年度全技連マイスター更新認定者（都道府県別）

和裁	平成 29 年度	南 嘉一 京都府
		三島 陽子 島根県
		矢野 直子 香川県
婦人子供服製造	平成 24 年度	佐藤 千鶴子 青森県
		岡 洋子 群馬県
		三鈷 イツ子 埼玉県
		角田 春江 千葉県
		酒井 啓子 石川県
	平成 29 年度	佐々木 春枝 北海道
		孫 聖 東京都
		中林 理香 大阪府
		中田 洋子 兵庫県
		日高 ヤス子 宮崎県
寝具製作	平成 24 年度	今村 みえ子 三重県
帆布製品製造	平成 24 年度	大西 勝也 香川県
	平成 29 年度	荒木 誠治 香川県

木材・木製品・紙加工品関係

置製作	平成 24 年度	高橋 收 大阪府
		益田 伸次 沖縄県
	平成 29 年度	中村 聰 新潟県
		眞鍋 恭二 香川県
表装	平成 24 年度	遠藤 利満 東京都
		大竹 伯宗 東京都
		堀田 直樹 富山県
		坪田 勝彦 福井県
		三上 和徳 長野県
		神南 元義 山口県
	平成 29 年度	高橋 秀一 宮城県
		田村 鑑栄 秋田県
		桜井 博 群馬県
		江原 望 埼玉県
		平川 康志 千葉県
		中村 賜信 富山県
		久門 一義 広島県
家具製作	平成 24 年度	小林 重行 東京都
		高橋 秀介 愛知県
		森下 明久 大阪府
	平成 29 年度	宮本 茂 東京都
		加藤 雄一 大阪府
		松田 憲昭 大阪府
建具製作	平成 24 年度	塙田 正志 群馬県
		山岸 健次 石川県
		山元 成巧 鹿児島県
	平成 29 年度	田村 功 秋田県

貴金属・装身具関係

貴金属装身具製作	平成 24 年度	小池 浄 山梨県
	平成 29 年度	壺屋 孝昭 山梨県
		前崎 享一 福岡県

その他	着付け	平成 24 年度	佐藤 和子 神奈川県
	レストランサービス	平成 29 年度	森山 明 東京都
	印章彫刻	平成 24 年度	相原 和春 東京都
		平成 29 年度	井上 崇 群馬県
	写真	平成 29 年度	武藤 一弘 北海道
			木村 孝雄 茨城県
			秋山 美樹 三重県
	化学分析	平成 29 年度	桑原 晴彦 長野県
	フラワー装飾	平成 24 年度	吉川 悟 秋田県
			原田 昌弘 山形県
		平成 29 年度	東 久志 鹿児島県
			石戸谷 龍海 青森県
			吉川 伸吾 秋田県
			武田 剛敏 山形県
			平康 雅美 大阪府
			伊藤 静子 大分県
			家村 洋一 鹿児島県
			主藤 正義 沖縄県
	調理 (日本料理)	平成 24 年度	堤 光明 北海道
			齋藤 清男 福島県
			鎌木 富男 埼玉県
			圓山 祥作 埼玉県
			羽賀 正光 東京都
			伊藤 哲夫 新潟県
			吉田 茂男 愛知県
			島田 正幸 三重県
			森 順一 滋賀県
		平成 29 年度	上野 研二 大阪府
			河村 正英 奈良県
			河井 澄 佐賀県
			東海林 剛 宮城県
			齋藤 聰 山形県
			土田 常雄 山形県
			川上 弘 茨城県
			吉野 修次 千葉県
			岡田 孝志 東京都
			松島 俊白 東京都
			大窪 公也 神奈川県
			渋谷 明 長野県
			大月 博 静岡県
			齊木 宏之 三重県
			山岡 和宏 滋賀県
			柏木 直樹 兵庫県
			近藤 一樹 兵庫県
			久保田 昌司 愛媛県
			坂野 一久 熊本県
			床次 信也 鹿児島県
	調理 (西洋料理)	平成 29 年度	元木 文男 群馬県
			泉 哲郎 熊本県

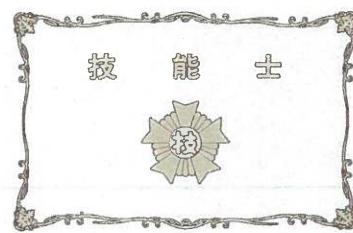
## 技能士カード・技能士手帳・技能士章記(楯・門標等)のご案内



お申込み・お問い合わせは、各都道府県技能士会・連合会へお願ひいたします。商品によっては、都道府県技能士会・連合会で取り扱っていないことがありますので、その場合は、一般社団法人全国技能士会連合会までお申込みください。※お申し込みの際は、技能検定合格証書の写しが必要になります。

## 技能実習生向け「技能士カード」のご案内

技能実習生向け「随時2級」「随時3級」「基礎級」  
合格者の技能士カードです。



## 全技連証明書カードのご案内

全技連証明書カードは全技連正会員団体の会員で、技能検定1級、単一等級以上及び全技連マイスター認定者の方が作成できます。

証明書カードは下図A・B・C・Dの4種類です。 縦5.5cm 横9.1cmの名刺サイズ



A (製品証明型) オリーブマーク



B (製品証明型) 手縫いマーク



A・B 共通裏面



C (技能士証明型) オリーブマーク



D (技能士証明型) 手縫いマーク



C・D 共通裏面

お申込み・お問い合わせは、各都道府県技能士会・連合会へお願ひいたします。  
商品によっては、都道府県技能士会・連合会で取り扱っていないことがありますので、  
その場合は、一般社団法人全国技能士会連合会までお申込みください。  
※お申し込みの際は、技能検定合格証書の写しが必要になります。

※お申し込みの際は、技能検定合格証書の写しが必要になります。



## 業務内容

### ○損害保険の代理店業務

- 職業訓練生総合保険
- 技能検定委員等の傷害保険
- 全国技能士会連合会の団体交通事故傷害保険
- 技能五輪等各種行事に関する保険
- 海外出張時の海外旅行傷害保険
- その他、火災保険・自動車保険・傷害保険等

### ○技能検定試験問題集 及び技能検定学科試験問題解説集の販売

## 有限会社 中央労働サービス

所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-8-12  
昇立西新宿ビル6階

電話 03-3367-3931・3932

FAX 03-3367-3933

